



©2005 石塚真一/小学館

第 107 号(平成 30 年4月3日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ
特別隊員

島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は次の方々に長野県の山岳地域で発生した遭難事例を原則的に 1 週間ごとにお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。

- ◇お客様と接する登山用品店舗スタッフの方
- ◇インターネットの登山情報サイトを利用される登山者
- ◇長野県内の各地区山岳遭難防止対策協会

★春の山火事予防特別強化中です。詳細は巻末をご覧ください。

平成 30 年中の山岳遭難発生状況(平成 30 年1月1日～3月 18 日)

BC(バックカントリー)は、登山行為を伴う「スキー(スノーボード)登山」と登山行為を伴わない「ゲレンデ外滑走」の総称。

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)外国人
平成 30 年	30	3	2	16	14	35	6
平成 29 年	37	9	1	18	18	46	13
前年同期比	-7	-6	1	-2	-4	-11	-7
内)BC	-8	-1	+2	-2	-12	-13	-7

山域別発生状況

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
北アルプス	槍穂高		0.0%				0
	後立山	8	26.7%	2	2	3	3
	その他	1	3.3%				2
	計	9	30.0%	2	2	3	5
中央アルプス	3	10.0%	1			2	3
南アルプス		0.0%					
八ヶ岳連峰	9	30.0%			6	5	11
その他の山岳	9	30.0%			7	2	9
計	30		3	2	16	14	35

態様別発生状況

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	8	26.7%	2		7		9
転倒	5	16.7%			5		5
病気	2	6.7%				2	2
道迷い	5	16.7%				8	8
落石		0.0%					0
雪崩	1	3.3%	1				1
落雷		0.0%					0
疲労凍死傷	2	6.7%				3	3
不明・他	7	23.3%		2	4	1	7
計	30		3	2	16	14	35

男女別・年齢別比率

区分	男性					(人) 比率	女性					(人) 比率	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率
19歳以下					0	4人 17.4%				3	3	6人 50.0%	3	10人 28.6%
20代					0					2	2		2	
30代			4		4					1	1		5	
40代	2	2	3	2	9	14人 60.9%			2		2	5人 41.7%	11	19人 54.3%
50代		1	2	2	5				2	1	3		8	
60代			3	2	5	5人 21.7%				1	1	1人 8.3%	6	6人 17.1%
70以上					0						0		0	
計	2	3	12	6	23		0	0	4	8	12		35	
比率	65.7%						34.3%							

日付	場所	年齢	性別	態様	死傷別	概要
3月17日	八ヶ岳連峰 東天狗岳	59	男	滑落	負傷	山頂から下山中、女性がバランスを崩し滑落、負傷。ロープで繋がれていた同行の男性も女性とともに滑落、負傷
		60	女	滑落	負傷	
<p>17日、女性Aさん60歳が、東天狗岳から黒百合平へ下山する際、バランスを崩し滑落。ロープで繋がれていた同行の男性Bさん59歳も滑落し、ともに負傷。同日、県警ヘリにより、救助し病院へ搬送しました。</p>						
3月18日	北アルプス 鹿島槍ヶ岳	42	男	滑落	死亡	鹿島槍ヶ岳北壁を登攀中、何らかの原因により滑落
<p>18日、男性Aさん42歳が鹿島槍ヶ岳北壁で倒れているのを別な登山者が発見して通報。県警ヘリにより救助しましたが、死亡が確認されました。</p>						
3月18日	鍋倉山	44	男	その他	負傷	山頂からスノーボードで滑走中、立木に衝突し負傷
<p>18日、男性Aさん44歳が鍋倉山山頂からスノーボードで滑走中に、立木に衝突して負傷。県警ヘリにより、救助し病院へ搬送しました。</p>						
上記遭難現場の状況						

山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

3月下旬となり、桜の開花宣言もされ、全国的には春模様となっていますが、長野県内の山々の多くは雪に覆われ、標高の高い山域ではいまだ冬山と変わらない環境です。特にこれからの時期、低気圧や前線の通過を伴う荒天に見舞われると、山中は猛烈な吹雪となります。事前に天気予報をチェックし、荒天時は登山を中止する等、安全を優先した判断に心がけてください。

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

◆春の山火事予防特別強化中！（平成 30 年3月 12 日(月)～4月 11 日(水)）

春先は、特に空気が乾燥し、強い風が吹くことから、山火事が起こりやすい時期です。

長野県では、昨年度の県消防防災ヘリコプターの事故を受け、上空からの消火が必要な火災等に対応するため、ヘリコプターの運航再開に向けた訓練に取り組んでいるところですが、「山火事を発生させない！」ため、登山者の皆様も例年以上に火の取り扱いにご注意いただくようお願いします。

山菜取りや登山、ハイキングなどの野山に出かける際には、タバコやたき火などの火は確実に始末し、火の取り扱いにはくれぐれも気を付けてください。

【次のことに十分気を付けてください】 ※火の取り扱い不注意から山火事多発中！

- ① 枯れ草など燃えやすいものがあるところでは、たき火をしないこと
- ② たき火など火を使用しているときは、その場を離れず、使用後は完全に消化すること
- ③ 風が強い日や乾燥している日は、たき火はしないこと
- ④ たばこは指定された場所で喫煙し、吸いがらは必ず消すとともに、投げ捨てないこと



万が一、火災が発生しているのを見つけた場合は、ただちに 119 番に通報してください。
また、火や煙に巻かれないように身の安全を確保してください。

* 本通信に関する質問・意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-tourism@pref.nagano.lg.jp までお寄せください。

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会＝